



外来生物カブトムシが 地球に優しい未来を創る

DEレポート No. 53

2025年3月
作成者:Y・K

 **脱炭素経営ドットコム**
By DENKOSHA

15 種の豊かさも
守ろう



「DEレポート」とは、環境やSDGsに係る社会問題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例や将来の展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。脱炭素経営ドットコムを運営する株式会社電巧社では、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。



外来生物による影響

■ カブトムシの現状

- 本来いるはずのない種類の外来種が存在している
- ペットや観賞用として飼っていた外来種が逃げ出してしまった、あるいは飼い主が自然へ逃がすなどして本来いるはずのない外来生物が存在している
- 生態系は長い期間をかけて食う・食われるという事を繰り返し、絶妙なバランスのもとで成立している。ここに外から生物が侵入してくると生態系のみならず、人間や農林水産業まで幅広くにわたって悪影響を及ぼす場合がある。また、もともと住んでいた生き物のエサを横取りする、住みかを奪ったり、外来種と国内種との間に雑種の子供が生まれ、遺伝的な多様性が失われる。体に寄生したダニなどにより病気を広げるなど、その地域の生態系バランスをくずしてしまう

■ 外来生物



出典: PR TIMES

■ 在来生物



出典: PR TIMES

生態系を守るためにできること

■ 取り組み事例

- 環境省では国産カブトムシ・クワガタの野外への遺棄防止に関する普及啓発を行っている（全国約5,000店舗にポスター配布）
- 環境大臣が外国産甲虫類を販売している専門店やホームセンター等に対して遺棄防止を呼び掛けるポスター掲示の依頼。購入者に対して遺棄に関する注意喚起についての協力依頼を行っている。子供向けのホームページを開設して呼びかけを行っている



出典：環境省 自然環境局



カブトムシが有機廃棄物、資源問題を解決！？

■ 地球にやさしい未来を創る

- 有機産業廃棄物(動・植物に由来するゴミ)をカブトムシが食べてくれる、という事に着目して事業を立ち上げた会社がある
- 世界では急激な人口増加と共に「有機廃棄物」が大量に出ており、廃棄に困っている現状がある。その有機廃棄物を加工してカブトムシのエサとする。そのカブトムシの糞が農業の肥料となり、カブトムシも魚養殖のエサ(魚粉)の代役として販売される。また、カブトムシの死骸には漢方などで有名な冬虫夏草の他、薬になる成分も含まれていることから、製薬メーカーとコラボして創薬に使用するための研究や、カブトムシの幼虫が持つカブトムシディフェンシン(抗菌性ペプチド、抗がん剤や抗生物質用途)の研究が進められている
- 海外ではカブトムシはゴキブリ同様に見られており、日本のように愛好する風習がないが、いつかはカブトムシが廃棄物を食べて育ち、尚且つ資源化され、ペットとしてもカッコイイ！と世界に認知されることを期待したい



出典: PR TIMES



出典: PR TIMES

カブトムシが資源問題を解決し、世界に認められるまで

■ 参照・引用資料

- 「外来カブトムシ・クワガタムシ 逃がさないで・捨てないで」緊急キャンペーンの実施と環境大臣の販売店の訪問について 2025.1.15閲覧 <https://www.env.go.jp/press/6292.html>
- ベット昆虫の環境問題 2025.1.15閲覧 https://www.museum.kyushu-u.ac.jp/publications/annual_exhibitions/INSECT2009/0304.html
- 生物情報収集・提供システム 2025.1.15閲覧 https://ikilog.biodic.go.jp/Investigation?invReq=life&life_id=624&eventremarks_id=205
- 国外産カブトムシ・クワガタムシ 2025.1.15閲覧 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/47/investigation-kabutokuwagata.html>
- カブトムシ 2025.1.15閲覧 <https://spaceshipearth.jp/?s=%E3%82%AB%E3%83%96%E3%83%88%E3%83%A0%E3%82%B7>
- TOMUSHI 2025.1.15閲覧 <https://tomushi.com/>
- PRTIMES 2025.1.15閲覧 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000078438.html>
- PRTIMES 2025.1.15閲覧 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000426.000034888.html>
- PRTIMES 2025.1.15閲覧 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000011516.html>
- PRTIMES 2025.1.15閲覧 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000062532.html>
- PRTIMES 2025.1.15閲覧 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000230.000058617.html>



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DELレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電気のコンシェルジュ

DENKOSHA

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当: DELレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。